

第1回 放射能測定

原発を考える会

2011年7月26日(火) AM11~PM1 うす曇 気温29℃ 南南東の風9m

1. 玉川学園で放射線量の測定を実施

現在町田市は7つの小学校校庭で放射線量を測定し、その値を公表しています。しかし玉川学園は含まれていません。そこで、子供の集まる所10カ所で計測を行いました。使用した線量計は、東京都が使用している TCS-166 と同系の TCS-151 と、町田市が使用している Dose RAE 2 の2機種です。

2. 意外に高い放射線量

町田市が使用する RAE 2 での測定値平均は $0.093 \mu\text{Sv/h}$ < 1時間あたり 0.093 マイクロシーベルト > です。市が発表する計測値の平均は $0.044 \mu\text{Sv/h}$ で、この数値の半分以下です。

3. 町田市の計測値と比べて

この格差の原因は、2つ考えられます。1つは計測場所です。市は、土が露出した、草が茂ってない、周囲に障害物がない、という基準に基づき、校庭の真ん中で測定します。私たちは実際に子供たちが活動する環境で測定しました。もう一つ、地形が影響する可能性があります。市の測定の中で一か所、他のほぼ倍の測定値の学校があります。函師小学校です。ここと学園地区が地形という共通点を持つかもしれません。

4. 玉川学園の測定値がもつ意味

この放射線量は、年間で計算すると 0.815 ミリシーベルトです。日本が安全基準としている 1 ミリシーベルトのすぐ手前まで来ています。この大半は半減期の長い放射性セシウムですから、これから急激な減少は期待できません。しかも、原発の状況は、今後も予断を許しません。

5. 私たち学園地区住民の課題

幼い子供を中心に考えましょう。そのために、安易に許容基準を引き上げるのではなく、子供の環境から、放射線量を可能な限り減らしていくことを目指し、私たちに出来ることを考え、実行しましょう。これからは、特に若い世代の力が必要です。

メーカー		ALOKA	DOSE
機種		TCS151	RAE2
製造国		日本	アメリカ
	地上		
玉川学園駅 北口 (向かい花壇レンガ上)	1m	0.14	0.08
	10cm	0.15	0.09
玉川学園駅 南口 (階段 角)	1m	0.08	0.08
	10cm	0.08	0.08
第五小学校 (正門入口)	1m	0.09	0.08
	10cm	0.1	0.08
玉川中央幼稚園 (グランド横)	1m	0.08	0.09
	10cm	0.09	0.09
さくらんぼホール (前 歩道)	1m	0.1	0.12
	10cm	0.12	0.1
なかよし公園 (TELBOX 横)	1m	0.1	0.08
	10cm	0.09	0.08
化石谷公園 (広場中央)	1m	0.08	0.11
	10cm	0.09	0.1
コスモス会館 (入口中央)	1m	0.1	0.09
	10cm	0.12	0.08
玉川大学 (正門入口左横)	1m	0.1	0.08
	10cm	0.11	0.08
ユニベシオール (中央入口 横)	1m	0.13	0.11
	10cm	0.14	0.11
たぬき山公園 (入口門扉 外)	1m	0.08	0.09
	10cm	0.09	0.09
玉川学園1丁目信号 (レストラン前角)	1m	0.1	0.09
	10cm	0.11	0.09
あしたば (店内)	1m	0.08	0.07
	10cm	0.09	
7丁目公園 (滑り台下)	1m	0.08	0.1
	10cm	0.1	0.1
玉川学園駅 北口 (タクシー乗場)	1m	0.11	0.1
	10cm	0.12	0.09
コロコロ児童館 (看板前)	1m	0.09	0.11
	10cm	0.12	0.1
文化センター (外 中央)	1m	0.11	
	10cm		
コロコロ児童館 (ホール中央)	1m	0.08	0.1
	10cm	0.06	0.1